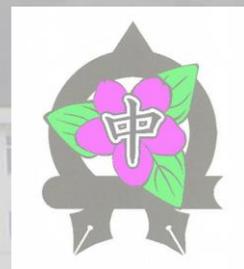


\*\*\*\*\*

# 協働



\*\*\*\*\*

令和6年5月16日発行 奥多摩町立奥多摩中学校

## 「見ててね。」

校長 原 善哉

皆さんはこの言葉に聞き覚えはありませんか。これは小さなお子さんが、親や大人によく言う言葉です。新しいことを覚えた時、できるようになった時に披露したくて「見ててね」と言うのでしょう。思わずわくわくしながら見てしまいます。大成功の時は嬉しくて拍手喝采します。成功しなくても「よく挑戦したね！次はできるよ！」と激励します。私は意気揚々と「見ててね」と言っている子どもの顔が大好きです。教員住宅に住んでいたとき、お隣の3歳ぐらいのお子さんが「おじさん、僕すごいことができるようになったんだよ見ててね。」と言い、玄関前に二段ほど積まれた、あまり高くない石垣に登り始めました。私は、きっとここから飛び降りて見せるのだろうと期待し、拍手の準備をして着地の瞬間を待ちました。しかしその子はなかなか飛び降りません。それどころか少々曇った表情で私を見ています。長いような短いような気まずい時間が流れる中、「はっ」と気が付きました。この子のすごいこととは、「飛び降りること」ではなく「登ること」なのだ。「す、すごい！この石垣に登れるようになったんだね！」と拍手。その瞬間、曇った表情が満足そうな満面の笑みに変わりました。その後何度も石垣登りを披露してくれました。ほっとしながら、気付けた自分もほめたい気持ちでいっぱいでした。

誰かに見ててもらえることや、認められることは、実は子どもも大人も関係なく嬉しいものです。

いいね！が付く SNS が流行るのもそのためです。心が満たされて意欲が高まり、次への挑戦につながります。本当にすてきですね。そしてしっかり認められて満たされると人は自立します。「見ててね」が必要なくなります。目標や進みたい道を自分で見つけられるようになり、例え失敗しても乗り越えられる力が付く。そして成功したら自分で自分自身に「いいね！」を付けられるようになるのです。

愛情たっぷりに育てられた人は、なぜか根拠のない自信に満ちていると聞きました。愛情の形は様々ですが、この「見てるよ」も愛情の一つだと確信しています。中学生のプライドはなかなか「見ててね」を言わせないかもしれません。でもそんな時こそ「教師は生徒の学校生活や学習活動の取組」を「親は我が子の趣味や習い事、家庭学習の姿」を、それぞれ応援する気持ちをもって今以上に「見て」いこうではありませんか。そして大人も子どもも満たされる「通いたい奥多摩中学校」につなげてまいりましょう。

### 5月「健康に気を配る」～「栄養」「休養」「運動」のバランスの大切さを学ぶ～

生徒の実践	先生の実践	家族の実践
体育やスポーツで体を動かす 体育大会に全力で取り組む 自分の健康について意識する 偏食せずバランスよく食べる	自分の健康と元気を意識する 朝学活の健康調査に気を配る 大きな声のあいさつがみんなのできるようにする	子どもの好みより栄養面に気を配る 睡眠時間の大切さを子どもと考える 子どもと健康について考え共に過ごす時間を作る

出典：スポーツドクター辻秀一著「心のカコーチング～いつも勝てるライフスキルの育て方～」講談社